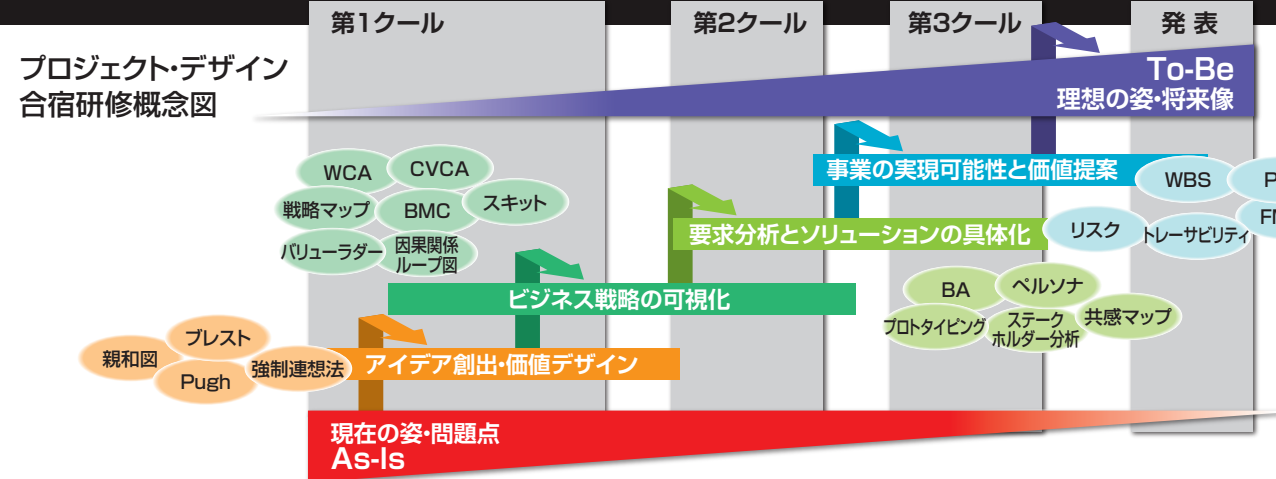


熱い8日間の事業創出ワークショップ。 協創SDGs



世界中を巻き込んだCOVID-19パンデミックは、この2年間で日本社会やビジネスのあり方を大きく変えました。今まさに、従来とは違った視点からイノベーションを生み出すスキルが重要となっています。

本研修は、複雑な社会の問題に対してイノベーションを創出するプログラムとして、毎年改善を繰り返しながら、本年度14回を迎えることができました。デザイン思考やシステムズエンジニアリングに関する理論やツールを用いながら、戦略に基づく新規事業プロジェクトのデザインを、上流から具体的な要求分析まで一貫貫したテーマで学習できるSDMならではのカリキュラムです。本年もSDGsをテーマに、これからの日本社会のみならず世界に通用するビジネスモデルを協創します。

本年度は、合宿とオンラインをとりまぜた、参加しやすいカリキュラムで開催します。第1クールは、慶應SDMのある日吉協生館での合宿により、デザイン思考を中心に、様々な立場や視点を交換し相乗効果の期待ができるグループワークを行います。第2・第3クールの、グループ共同作業ツールを利用したオンライン研修を経て、第4クールとして最終日は、研修成果を大ホールにて発表します。研修日程のインターバル期間中も、共同作業ツールの利用や、講師陣とゼミ形式で直接議論できるオフィスアワーの開催により支援します。また、過去の修了者によるメンター

としての参画、SDM学生による操作サポートなどにより、充実した8日間となるようカリキュラムを構成しています。

新しい研究成果やトレンドツールをとりいれたSDM教授陣による講義およびワークショップの他、過去この研修を修了された方に活用実績をご紹介いただくパネルディスカッションなど、研修の成果を実際に組織に適用するための構成は例年のとおりです。

普段の業務で出会うことのない異業種のメンバーたちとグループワークを行うアクティブラーニングによって、新たな視点や気づきを得ながら学びを進めます。この研修で出会ったメンバーたちが、修了後も継続して自主的にイノベーションプロジェクトに取り組むほどの良い仲間づくりになっており、研修期間だけでなく、長期にわたる人間関係のネットワーク構築のために本研修をご利用いただいているようです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、現時点ではウィルス対策の上での合宿研修を想定しています。が、状況により全てオンラインとなる可能性もあります。開催方針については、9月中旬をめぐり確定する予定です。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

大塚 有希子 当麻 哲哉

セミナーコーディネーター
大塚 有希子
Yukiko Otsuka

コンサルタント、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師、法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 准教授、博士(SDM学)、PMP、CBAP、ITCインストラクター、1級FP

経済産業省、中小企業庁からの優秀案件採択、優秀アドバイザー表彰など。金融機関人事部、戦略企画部門を経て、現在はコンサルタントとして、戦略・マネジメントに関する人材開発、制度設計のコンサルティングを行いながら、社会人大学院にて教育・研究指導等。慶應SDM研究所の「ビジネスデザイン×プロジェクトマネジメントラボ」代表。PMP®資格受験対策講座も担当。本研修についてセミナーコーディネーターを務める。

監修
当麻 哲哉
Tetsuya Toma

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授、SDM研究所 マネジメントデザインセンター 代表、博士(システムデザイン・マネジメント学)、PMP

1988年3MIに入社、製品開発スペシャリストとして日米両国で約20年間、新製品をグローバル市場に導入、2008年より大学教員、現在に至る。PMI本部GAC (PM教育プログラム国際認証機関)ディレクター、日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ) 理事。2019~2020年にはマサチューセッツ工科大学訪問研究員の経験あり。著書に「グローバルプロジェクトチームのまとめ方:リーダーシップの新たな挑戦」(監訳、慶應義塾大学出版会)がある。

第14回「システム×デザイン思考」を実践に生かす プロジェクト・デザイン 合宿研修

募集要項

期 日：〈第1クール〉 集合研修 2022年10月12日(水)~14日(金)
 〈第2クール〉 オンライン研修 11月 3日(木)~ 4日(金)
 〈第3クール〉 オンライン研修 11月29日(火)~30日(水)
 〈第4クール〉 集合研修 12月12日(月)

会 場：集合研修は慶應義塾大学日吉キャンパス協生館
 オンライン研修はZoom、miroなどを活用して行ないます。

募集定員：30名 (最少催行人数:16名)

対 象：プロジェクトをイノベティブに企画・遂行するリーダーを目指す方

受 講 料：440,000円(税込)

*宿泊費は別途お納めいただきます。
 *状況により全日オンライン開催とする可能性があります。
 開催方針については、9月中旬を目途に参加者にご連絡します。

申込方法：WEBサイトよりお申込ください。

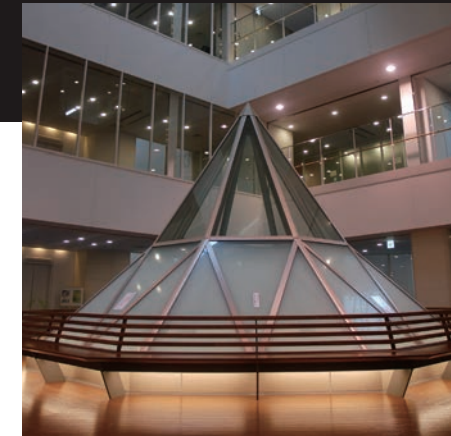


*各クール間にグループ課題も
 ございます。

全てのカリキュラムを修了された方には、最終日に「修了証書」をお渡しします。ご希望の方には最大67PDU (Education,W:30/P:10/B:27)の受講証明、最大16.5ポイントのITCポイント付与証明を発行します。また、カテゴリー2で最大30CDUまたはカテゴリー5で最大15CDU自己申請することができます。

協生館宿泊施設

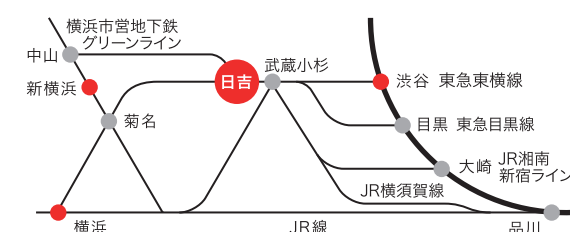
第1クールは合宿形式セミナーのため、10月12日(水)、13日(木)は原則として全員、協生館内の研修宿泊施設へ宿泊していただきます。ご希望の方は前後泊も可能です。また、第4クール12月12日(月)の前後泊もご利用いただけます。(一人部屋、4,400円(税込)/泊)



システムデザイン・マネジメント研究所 (SDM研究所) とは?

SDM研究所は、企業をはじめ社会のあらゆる組織におけるシステムデザイン・マネジメントの理解とマネジメント能力の向上のため先端的な研究・教育を行い、広く社会の発展に寄与することを目的として2008年に開設された研究科附属の研究所です。公開講座・講演会・セミナー等の開催ならびに講師派遣、システムデザイン・マネジメントに関する研究調査、外部機関との研究プロジェクトの推進、国際機関・世界各地の大学および研究機関との協力・提携ならびに交流などの事業を行っています。

交通アクセス



東急東横線、東急目黒線
 ※東急東横線の特急は日吉駅に停車しません。
 横浜市営地下鉄グリーンライン
 日吉 武蔵小杉 渋谷 東急東横線
 目黒 東急目黒線
 大崎 JR湘南新橋ライン
 JR横須賀線
 品川
 横浜 中山 新横浜 菊名
 1 渋谷~日吉: 急行18分 (通勤特急16分)
 2 横浜~日吉: 急行12分 (通勤特急10分)
 3 新横浜~菊名~日吉: 14分

日吉駅直結

お問合せ先

慶應義塾大学
 日吉学生部 SDM担当

〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1 協生館2F
 Tel: 045-564-2518 Email: sdm@info.keio.ac.jp

<http://www.sdm.keio.ac.jp/>

第14回 2022

SDIM

System Design and Management

プロジェクト・デザイン 合宿研修

2022

10.12(水) → 10.14(金)
 11. 3(木)・11. 4(金)
 11.29(火)・11.30(水)
 12.12(月) 計8日間

「システム×デザイン思考」
 を実践に生かす



【後援団体】



一般社団法人 PMI日本支部



特定非営利活動法人
 日本プロジェクトマネジメント協会



一般社団法人 IIBA日本支部



特定非営利活動法人
 ITコーディネータ協会



一般財団法人
 エンジニアリング協会

【主催】



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属
 システムデザイン・マネジメント研究所マネジメントデザインセンター

※オフィスアワーは質疑応答や情報共有の場(任意参加です)

第1クール 集合研修(合宿)

1日目	2日目	3日目
10/12水 一チーム・ビルディング	10/13木 一問いをたて価値を考える	10/14金 一ビジネスをデザインする
8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00	8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00	8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00
オフィス・アワー 「本質思考でテーマを掘り下げる」 米澤 休憩 「システム思考とは」 西村 「システムデザインマネジメントとは」 当麻 昼食(提供予定) 研修イントロダクション 「研修概要および演習テーマ」 大塚・中田 休憩 「本質思考とは」 米澤 休憩 「本質思考～思考のワナ」 米澤 夕食(提供予定) 「チームビルディング」 大塚	オフィス・アワー 「本質思考でテーマを掘り下げる」 米澤 休憩 「システム×デザイン思考とは」 白坂 昼食(各自) 「問いを考える」 長谷川 休憩 「問いを考える」 長谷川 休憩 「価値を考える」 長谷川 夕食(各自) 「アイデアを創出する」 長谷川	オフィス・アワー 「ミッションを考える」 濱 休憩 「ビジネスモデルをデザインする」 濱 昼食(各自) 「ビジネスモデルをデザインする」 濱 休憩 「ビジネスの構造を考える」 濱 休憩 「ビジネスの構造を考える」 濱 夕食(各自) グループ・ワーク
宿泊	宿泊	

講師プロフィール

西村 秀和
Hidekazu Nishimura
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長 教授 工学博士
モデルベースシステムズエンジニアリング、システム安全、デジタルトランスフォーメーションなどの教育・研究に従事。現在、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科委員長／教授、一般社団法人JCOSE 代表理事、日本機械学会フェロー、JST特任フェロー。著書:システムズエンジニアリングハンドブック第4版(監訳)、システムズモデリング言語 SysML(監訳)、MATLABによる制御系設計(共著)など。

米澤 創一
Soichi Yonezawa
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授 プロジェクトマネジメント/人材育成コンサルタント、プロフェッショナルメンター、投資家
元アクセンチュア株式会社マネージングディレクター。26年10ヶ月にわたるアクセンチュアのキャリアでは、プロジェクトマネジメントグループ統括、SAPプラットフォーム統括、教育責任者、品質管理責任者、などを歴任。2008年の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(SDM)設立時から教鞭をとっている。専門分野はプロジェクトマネジメント、本質思考・本質把握力、人材育成、組織運営、リーダーシップなど。著書「プロジェクトマネジメントの生活のススメ」(日経BP)、「本質思考トレーニング」(日本経済新聞出版社)

濱 久人
Hisato Hama
株式会社彩成コンサルティング代表取締役 PMAJ研修委員会委員、慶應義塾大学大学院・東洋大学非常勤講師
建設コンサルタントで都市計画、交通計画のプロジェクトを担当、その後パナソニック株式会社のシステムソリューション部門及び人材開発部門にて、システム開発部門のSE及びPMとして、各種プロジェクトを担当。さらにNTTデータの研修機関である株式会社NTTデータユニバーシティを経て、現在は株式会社彩成コンサルティングを設立。専門はプロジェクトマネジメント・事業戦略・人材育成など。事業戦略・プログラム&プロジェクトマネジメント・パーソナルスキルなどの研修を推進中。

中田 美紀子
Mikiko Nakada
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任助教 Office DeMI 代表社員
Western Michigan Universityにおいて女性学及び社会学心理学を専攻。本田技研工業株式会社知財産部で基礎研究における契約交渉などを担当。その後、三越伊勢丹ホールディングスにて、社長直下のプロジェクトマネジメントに従事。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科前期博士課程修了を経て現職。システムデザイン・マネジメント序論やデザインプロジェクトの授業等を担当。ジェンダーや多様性について研究を行っている。

第2クール オンライン研修

4日目	5日目
11/3木 一ビジネスを具体化する	11/4金 一ビジネスを具体化する
8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00	8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00
オフィス・アワー 「課題発表」 休憩 「課題発表」 昼食(各自) 「ビジネスアナリシスの要求分析」 大塚 休憩 「顧客視点で考える」 大塚 休憩 「システム・アーキテクチャ」 西村 夕食(各自) グループ・ワーク	オフィス・アワー 「機能を抽出する」 中田 休憩 「機能を抽出する」 中田 昼食(各自) 「機能を割り当てる」 中田 休憩 「機能を割り当てる」 中田 「検証と妥当性確認」 中田 夕食(各自) グループ・ワーク

講師プロフィール

白坂 成功
Seiko Shirasaka
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 博士(システムエンジニアリング学)、PMP
三菱電機(株)を経て現職。専門分野は、イノベーション創出にむけた新価値創造方法論であるシステム×デザイン思考や、システムズエンジニアリング。2015～2019年、内閣府革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)のプログラムマネージャーとしてSAR衛星を開発。現在は情報処理振興機構デジタルアーキテクチャ・デザインセンター有識者会議座長、(一社)スマートシティ・インスティテュート エグゼクティブアドバイザー、内閣府宇宙政策委員、経済産業省グリーンイノベーションプロジェクト部会WG3座長などを兼任。

都丸 孝之
Takayuki Tomaru
城西国際大学大学院ビジネスデザイン研究科・メディア学部 教授 博士(システムエンジニアリング学)
富士ゼロックス株式会社を経て現職。米スタンフォード大学にて顧客価値分析を活用した事業創出および製品企画プログラムに参画。現在は、大学や企業にて地域創生をテーマにしたPBL(Project Based Learning)および顧客価値分析手法を用いた事業創出プログラムを展開。企業の人材育成プログラム、管理職研修、ビジネスゲーム研修、企業・自治体向け講演など多数。慶應義塾大学大学院経営管理研究科 非常勤講師も兼任。著書「働きながらも博士号はとれる(研究社、2014)」など。

長谷川 廣明
Hiroaki Hasegawa
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教 リコージャパン(株)人財本部 シニアスペシャリスト
慶應SDM研究科システムエンジニアリング学を履修後、人材育成と事業創発を同時に行うメソッドを研究・開発している。現在は、コア科目であるデザインプロジェクト、SDM序論の特任助教として従事。また、株式会社リコーの基幹システム要求開発を長年担当し、SDM学を活用した事業開発型の人材育成プログラムを展開。リコージャパン株式会社では人財開発戦略を担当。

前野 隆司
Takashi Maeno
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 兼 慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチ センター長 博士(工学)
キャノン株式会社、カリフォルニア大学パークレー校訪問研究員、ハーバード大学訪問教授、慶應義塾大学理工学部教授を経て現職。著書:「ディストピア禍の新・幸福論」(プレジデント社、2022)「ウェルビーイング」(日経文庫、2022)、「幸せな職場の経営学」(小学館、2019)、「幸福学×経営学」(内外出版社、2018)、「幸せのメカニズム」(講談社、2013)、「思考脳力のつくり方」(角川新書、2010)、「脳はなぜ「心」を作ったのか」(ちくま文庫、2010)など多数。

第3クール オンライン研修

6日目	7日目
11/29火 一ビジネスの実現可能性を評価する	11/30水 一ビジネスの実現可能性を評価する
8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00	8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00
オフィス・アワー 中間発表 「調査分析報告」 休憩 中間発表 「調査分析報告」 昼食(各自) 発表評価 休憩 発表評価 休憩 パネル・ディスカッション 「SDMメソッドの適用」 夕食(各自) パネル・ディスカッション 「SDMメソッドの適用」	オフィス・アワー 「ビジネスの収益性を考える」 都丸 休憩 「ビジネスの収益性を考える」 都丸 昼食(各自) 「リスクをマネジメントする」 大塚 休憩 「ポートフォリオマネジメントとプロジェクトマネジメント」 大塚 休憩 最終発表へ向けた準備 夕食(各自) 最終発表へ向けた準備

講師プロフィール

石田 直之
Naoyuki Ishida
朝日放送グループホールディングス株式会社 (第13回参加者)
イノベーション創出のための思考方法を講義で学び、チームメンバーとの連日連夜のグループワークで学んだことを身に付けることができたと感じています。寝ても覚めても研修課題のことが頭を離れないほど濃密で刺激的な2か月間でした。

第4クール 集合研修

8日目
12/12月 一最終プレゼンテーション
8:30-9:00 9:00 10:30 10:45 12:15 (60分) 13:15 14:45 15:00 16:30 16:45 18:15 (75分) 19:30 21:00
オフィス・アワー プレゼンテーション準備 最終プレゼンテーション 休憩 最終プレゼンテーション 昼食(各自) 13:30～15:00 「幸福経営学」 前野 休憩 研修振り返り 休憩 修講式

講師プロフィール

吉武 勇人
Yuuji Yoshiki
旭化成株式会社 (第11回参加者)
本質的かつ説得力のある講義が展開され、世の中に新たな価値を生み出すこと、そこで必要なことを体系的に学ぶことができます。フェローとして精一杯サポートさせていただきます。皆さんとアツい議論ができることを楽しみにしています。

佐藤 友彰
Tomotaka Sato
ヤマハ発動機株式会社 (第10回参加者)
「狙ってイノベーション創出する」という考え方が、個人的には衝撃的でした。システム思考×デザイン思考について実践的に学べるこの研修は、とてもハードでしたが、満足度も高く、忘れられない経験になっています。

受講者のコメント

國枝 麻里子
Mitsuko Kunegi
株式会社 野村総合研究所 (第11回参加者)
本研修にて、「イノベーション創出は、偶然の産物ではない、狙ってイノベーション創出に挑戦する」ということを学び、感銘を受けました。実践型の授業は、刺激的かつ有意義なものでした。

神藤 善行
Yoshitaka Kaminaga
神田通信機株式会社 (第12回参加者)
多岐にわたる業種の方と同じ目的に対し、多様な意見を出し合って進めていく発想の幅の広さに刺激をうけました。オンライン開催という観点でのツールの活用も非常に勉強になりました。チームで最終日に夜遅くまで成果物を練り上げ、全員でプレゼンした達成感は忘れられないです。

坂上 真美
Mami Sakagami
個人事業主 (第12回参加者)
SDMのエッセンスが学べると先輩から聞き参加しました。インターバル期間も手厚いフォローを受け「システム×デザイン思考」を深く学べる貴重な3ヶ月間でした。異業種の仲間とその後も交流が続いている点も財産です。

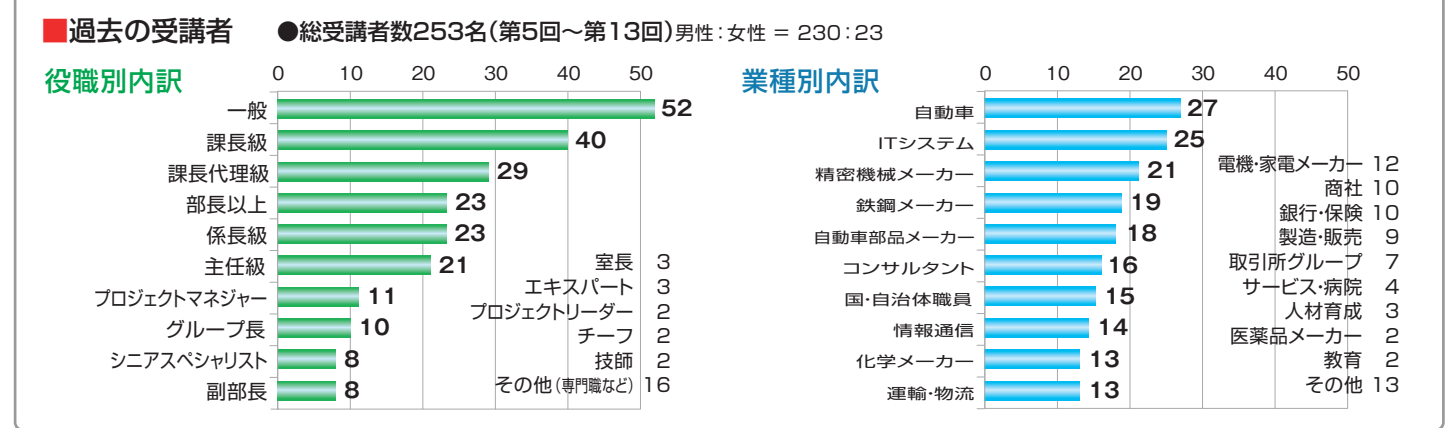
山口 正展
Masafumi Yamaguchi
株式会社JCB (第13回参加者)
デザイン思考を謳った研修は数多あれど、システム思考を掛け合わせアイデア創出からビジネスモデル策定に至るまでを一貫して学べるのは、本研修が唯一だと思います。多様なメンバーと熱い議論や試行錯誤を重ねて協創していくプロセスは、大変刺激的であり知的興奮に満ちたものでした。

石田 直之
Naoyuki Ishida
朝日放送グループホールディングス株式会社 (第13回参加者)
イノベーション創出のための思考方法を講義で学び、チームメンバーとの連日連夜のグループワークで学んだことを身に付けることができたと感じています。寝ても覚めても研修課題のことが頭を離れないほど濃密で刺激的な2か月間でした。

安藤 真衣子
Miko Ando
エモビオパティクス・ジャパン株式会社 (第13回参加者)
研修で異なる業種の方々との意見を出し合いながら議論することは非常に新鮮でした。新たな視点や気づきを得られた有意義な8日間は、更に深く学び、体得したいという思いが芽生えた貴重な人生の転換点となりました。

フェローからのご挨拶

※フェローとは、過去の修了者によるメンターの中でとくに著しい貢献があった方です。フェローには本年度も受講者をサポートしていただきます。



※内容は変更される場合があります

最終発表の準備 12月11日(日)、発表資料作成とプレゼンリハーサル(前泊可)任意参加